

令和3年度第2回 府中市地域公共交通協議会 会議録（要旨）

開催日時 令和4年1月21日（金） 午前10時から午前11時20分まで

開催場所 府中駅北第2庁舎3階会議室

出席委員等 18名（名簿順）

森本章倫委員、岡村敏之委員、榎本聡委員（代理：田草川朝子 氏）、篠田貴宏委員、齊原潤委員、早田俊介委員、小泉裕樹委員、小宅肇委員、平野景一委員、小泉伸介委員、飯箸俊一委員、堀木智浩委員、小町篠委員、野田和彦委員、河井文委員、北村のぞみ委員、林田あゆみ委員、松村秀行委員

欠席委員 2名

谷口信夫委員、清水直樹委員

事務局

高橋都市整備部次長兼計画課長、松本計画課交通企画担当主幹、國分計画課長補佐、浅見計画課交通企画担当主査、荒井計画課事務職員

傍聴者 2名

議事次第

1 開会

2 議題

(1) 報告事項

ア 地区別カルテについて

イ ちゅうバス事業の評価検証について

3 その他

4 閉会

会議概要

事務局

ただいまから、府中市地域公共交通協議会を開会していただきたく存じます。開会に先立ちまして、都市整備部次長の高橋よりご挨拶申し上げます。

事務局

委員の皆様、こんにちは。都市整備部次長の高橋でございます。本日はお忙しい中お集りいただきまして、誠にありがとうございます。

地域公共交通計画の策定に向けて、委員の皆様より貴重なご意見をいただければと考えています。どうぞよろしく願います。

事務局

以降の議事進行につきましては、森本会長に願います。よろしく願います。

会長

委員の皆さんおはようございます。ただいまから令和3年度第2回府中市地域公共交通協議会を開催します。会議に先立ちまして、本日の委員の出席状況について事務局から報告をお願いします。

事務局

（河井委員が遅れること、谷口委員及び清水委員の欠席、榎本委員の代理として東日本旅客鉄道株式会社八王子支社経営企画室の田草川氏が出席する旨報告）

会長

続いて、傍聴者についてご報告をよろしく願います。

事務局

（傍聴者希望者がいることを報告）

会長

委員の皆様、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（異議なし）

会長

続いて、議題に入りたいと思います。
報告事項「ア 地区別カルテ」について説明をお願いします。

事務局

（資料1-1、1-2、資料2に基づき、説明）

会長

ありがとうございました。委員の皆様から、ご質問やご意見をお受けしたいと思えます。

○会長

資料1 - 1の地区別カルテの総括版を見ると、赤字で記載されている部分がありますが、これはどのような意味でしょうか。

事務局

3割を超える比較的割合の高い項目を赤字で強調して表示しています。

会長

数値の高いものが赤色、その次に高いものが黒の太字ということによろしいでしょうか。

○事務局

おっしゃるとおりです。

○会長

並べてみると、地区によって状況が違ってくるがよくわかります。ライフスタイルも異なりますし、都心方向への移動が多い地区や、地区内移動が多い地区などが見られ、それに応じてバス交通の使われ方や駅へのアクセス方法が違ってくるなど、同じ市の中でも移動の実態が様々であることが把握できたと思います。

副会長

地区ごとの生活圏や移動範囲について、特定の駅や場所まで移動できれば良いということではなく、目的によって複数の拠点を使い分けている実態が見られるので、バスや鉄道の役割分担が重要になる地域が多いと感じています。一方で、特定の駅や拠点に移動している地域も見られますので、そのような地域は引き続き運行サービスを維持していくといった議論ができるのではないかと思います。

会長

続いて、報告事項「イ ちゅうバス事業の評価検証」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料3に基づき、説明)

会長

令和2年度の利用率が前年比で3割ほど減少しているということで、全国的にも公共交通の利用率は新型コロナの影響で減少しています。一点質問ですが、3割の減少は全体的な傾向なのか、特に高齢者の落ち込みが激しかったのか、属性による傾向が分かれば教えていただきたいです。

事務局

年代別の傾向は把握できていませんが、ルートによって減少幅が異なっています。

会長

ルートごとに利用者が大きく減少したところと、それほど減少しなかったところの差があるということですね。実際に運行している事業者の方から感想などがありましたらお願いします。

委員

事務局からの回答と同じになってしまいますが、当社の路線バス全体の状況でも、全体的に3割ほど落ちており、路線によって傾向が異なっている状況です。

特に落ち込みが激しいのが「学校輸送」で、府中市の近隣でいうと、聖蹟桜ヶ丘や高幡不動から帝京大学に行く路線は大学生の利用が多いのですが、リモート授業により学生が来なくなり、利用が落ち込むという特徴があります。

同様に、「企業輸送」と呼ばれるような、路線の途中に会社や工場があり従業員の人が利用する路線についても、大きく落ち込んでいます。例としては、JR日野駅から日野自動車に行く路線は、テレワークの影響により落ち込みが激しくなっています。

路線全体を通して、リモートによる活動が普及したことによる影響が大きいと感じています。

委員

自転車や徒歩の利用割合が高い地域でちゅうバスがあまり利用されていないという説明がありましたが、ちゅうバスを利用してもらうために自転車や徒歩の利用をさらに少なくするという考え方なのでしょうか。

事務局

今回は、市民の移動実態やちゅうバス・路線バスの利用実態を確認するため各種調査を実施しており、地区ごとに実態が異なる状況にあることから、地区の課題を整理したカルテなどを資料としてご提示しております。このような資料等に基づきながら、本市における持続可能な公共交通ネットワークの形成にどのように取り組んでいくかということテーマとして、今後協議会や部会にお諮りしたいと考えています。現時点では調査結果を整理した資料のご報告ということに留めさせていただきます。

委員

調査結果に基づいて改善をしていくかどうかは別問題ということでしょうか。

事務局

次回以降、現状や課題についてさらに整理をして、議論を進めたいと考えております。

会長

全体のバランスを考えながら、よりよい地域公共交通のあり方を構築するという方向で議論していただきたいと思います。

また、自転車との関係という点では、歩いて楽しいまちづくり、いわゆるウォーカビリティーとのバランスも、市の交通戦略としては必要だと考えています。このような点についても今後情報交換できればと思います。

課題もいくつか見えてきており、作成していただいた資料をベースに改善策を練っていただきたいと思います。民間のバス事業者等と連携し、パイを取り合うのでは

なく相乗効果が出るような形でのネットワーク再編を基本として、議論していただきたいと思います。

副会長

全体を見ると、最寄駅近くのスーパーや徒歩で行くには少し遠い駅へ行くというような狭い生活圏で、ちゅうバスを利用している実態もありますが、全体の約3分の2は府中駅発着となっています。府中駅まで来ないと買い物ができないわけではないものの、府中駅まで行きやすくなることで、高齢の方や市民の方の日常の生活圏を拡大するという点に役立っていると感じており、通勤や通学にはあまり利用されていません。

このように生活の質の向上に繋がっている面をうまく伸ばしていくということに加えて、路線バス等との関係において非効率な部分をどうするのか、今後検討していくということかと思っています。

会長

丁寧に分析していただいていますので、各自持ち帰って精査していただき、次の対策をどのようにすべきか一緒に考えていきたいと思っています。

続きまして、議事3「その他」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

次回の部会は3月上旬を予定しており、協議会については3月下旬で調整しています。日程が確定しましたらご連絡いたします。

会長

全体を通して、ご意見やご質問等はありませんでしょうか。

委員

アンケート項目の不満点として「運行本数の多さ」という表現がありますが、分かりにくいので「運行間隔」という表現にしてはどうでしょうか。運行間隔が空きすぎていることに不満を持っているという趣旨ですが、運行本数の多さに不満があるように見えて紛らわしいので、修正する機会があればお願いしたいと思っています。

会長

事業者の視点と利用者の視点による表現の違いのようですので、事務局で精査をしていただきたいと思います。

以上をもちまして、地域公共交通協議会を閉会させていただきます。
ありがとうございました。

以 上